

平成25年2月期 決算参考資料

米久株式会社
(東証一部：2290)

1. 当期の業績に影響を与えた主な項目

- 1) 豚肉・鶏肉は国産相場が、豚肉5%・鶏肉13%それぞれ下落
- 2) 食肉全体では数量が6.9%の大幅増加も、相場下落により売上高は0.2%の微減
- 3) 加工品全体では、コンシューマ商品を増強し、数量1.7%・売上高2.8%それぞれ増加
- 4) テレビCMの放映地域を拡大、御殿場高原あらびきポークは数量が1.7倍に増加
- 5) コンシューマ商品の増加と大龍ブランドの中華冷凍惣菜の販売開始により、デリカ売上高は3.1%増加
- 6) 加工品主原料価格はハム・ソーセージともに低下、一方で副原料の羊腸価格は高値で推移
- 7) 物流費・広告宣伝費・人件費が増加、売上高販管費率が0.5ポイント上昇
- 8) 有価証券売却益、震災損失、資産除去債務等、前期における一過性の特別損益による影響が解消
- 9) 持分法適用会社の事業拡張投資に伴う償却負担増大、また国産鶏肉市況の悪化を受け、持分損失が拡大
- 10) 助成金、補償金により323百万円の特別利益が発生
- 11) 生ハムの製品自主回収により66百万円、また、子会社株式譲渡により451百万円の特別損失が発生
- 12) 為替円高により輸入調達価格が低減

2. 当期(平成24年3月1日～平成25年2月28日)の連結業績

	当期実績	前期実績	伸び率(%)	前回(3Q)予想
売上高	142,372	140,796	1.1	141,000
営業利益	484	1,717	△71.8	600
経常利益	322	2,018	△84.0	500
当期純利益	△221	1,359	-	30
EPS(円)	△8.64	49.62	-	-
ROE(%)	△0.6	3.6	-	-
ROA(%)	1.6	3.4	-	-

注1)ROAは事業利益(営業利益+営業外収益)にて算出しております。

3. 連結業績の推移

金額単位 百万円

	平成21年2月期	平成22年2月期	平成23年2月期	平成24年2月期	平成25年2月期
売上高	172,613	168,717	136,049	140,796	142,372
営業利益	4,646	4,387	1,917	1,717	484
経常利益	4,635	4,539	1,999	2,018	322
当期純利益	1,001	2,863	1,220	1,359	△221
純資産	40,666	37,191	37,756	37,430	36,050
総資産	83,903	61,371	61,262	63,610	61,146
一株当たり純資産:円	1,227.52	1,335.32	1,360.30	1,405.95	1,418.86
一株当たり当期純利益:円	34.85	100.09	44.04	49.62	△8.64

4. 報告セグメント別業績の推移

金額単位 百万円

	平成24年2月期		平成25年2月期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
報告セグメント				
加工品事業	57,095	1,356	58,692	651
食肉事業	80,442	332	80,275	△232
小計	137,538	1,688	138,968	418
その他	3,258	29	3,404	66
連結財務諸表計上額	140,796	1,717	142,372	484

5. 連結子会社一覧

金額単位 百万円

会社名	持分割合 (%)	売上高	総資産	事業内容
米久かがやき(株)	100.0	21,292	6,588	ハム・ソーセージ・デリカ製品の製造
(株)日宏食品	100.0	1,987	485	ソーセージの製造
米久デリカフーズ(株)	100.0	7,787	3,392	冷凍デリカ製品の製造・販売
国内加工品生産会社計		31,067	10,465	
YONEKYU U.S.A.,Inc.	100.0	2,406	1,039	ソーセージの製造
海外加工品生産会社計		2,406	1,039	
米久おいしい鶏(株)	100.0	10,493	4,258	鶏肉の生産・加工・販売
(株)マルフジ	100.0	2,085	356	牛肉の加工・販売
アイ・ポーク(株)	100.0	4,003	580	豚肉の加工・販売
大洋ポーク(株)	100.0	2,708	554	豚肉の生産・加工・販売
食肉供給会社計		20,673	6,771	
御殿場高原 ビール(株)	84.3	1,614	786	地ビールレストランの経営
(株)平田屋	100.0	1,394	827	菓子の製造・販売
その他の会社計		3,008	1,613	
< 連結子会社合計 >		57,156	19,891	

持分法適用関連会社2社

・加工品・食肉事業

MIY(株)

・食肉事業

ときめきファーム(株)

6. 当期の業績

(1) 売上高

<加工品事業>

加工品事業では、ハム等において量販店向けのロースハムが減少したものの、コンビニ向け加工品が増加したため、売上高・数量は微増となりました。一方、ソーセージはコンシューマ商品が増加となり、ハム・ソーセージ合計では売上高が2.8%、数量が2.6%それぞれ増加しました。デリカも主力商品が総じて好調に推移し売上高・数量がともに増加しました。これらにより、加工品事業全体では、売上高が2.8%、数量が1.7%それぞれ増加しました。

<食肉事業>

食肉事業では、まず豚肉は、国産が増加するとともに、北米産冷蔵豚肉も好調に推移し、売上高1.0%・数量5.1%それぞれ増加しました。また、牛肉も国産が大きく増加し、売上高3.7%・数量1.3%それぞれ増加しました。一方、鶏肉は国産・輸入品合わせて数量を10.5%と大きく伸ばしましたが、相場的大幅な下落により売上高は4.6%減少しました。これらにより、食肉事業全体では売上高は0.2%減少、数量は6.9%増加しました。なお、加工品事業の売上高は586億92百万円、食肉事業の売上高は802億75百万円となりました。以上の結果、当期の売上高は前期に比べ15億76百万円増加し1,423億72百万円(1.1%増)となりました。

(2) 売上総利益

加工品事業では、副原料価格が上昇したものの、売上高・数量の増加により売上総利益は前年同期に比べ0.4%増加しました。一方、食肉事業では数量を大幅に増加させたものの、国内食肉相場低迷の影響により、売上総利益は前年同期に比べ4%減少しました。

以上の結果、当期の売上総利益は前期に比べ1億38百万円減少し193億3百万円(0.7%減)、連結の売上総利益率は0.2ポイント下落し13.6%となりました。

(3) 販管費、営業利益

加工品事業では、広告宣伝費の増加などにより販管費は前年同期に比べ27.6%増加し、営業利益は6億51百万円(52.0%減)となりました。食肉事業では、物流費の増加などにより販管費は前年同期に比べ11.6%増加し、営業利益は2億32百万円の損失(前年同期は3億32百万円の利益)となりました。

以上の結果、当期の販管費は前期に比べ9億55百万円増加し187億99百万円(5.4%増)となり、売上高販管費率は前年同期に比べ0.5ポイント増加の13.2%となりました。また、営業利益は12億33百万円減少し4億84百万円(71.8%減)となりました。

(4) 営業外損益、経常利益

営業外収益が前年同期に比べ1億27百万円増加、営業外費用は5億90百万円の増加となりました。なお、持分法による投資損失は5億33百万円の増加となりました。

以上の結果、当期の経常利益は前期に比べ16億96百万円減少の3億22百万円(84.0%減)となりました。

(5) 特別損益、税金等調整前当期純利益、当期純利益

特別利益は、投資有価証券売却益の減少等により5億71百万円減少、また特別損失は、ロース生ハムの一部製品自主回収費用の計上や子会社の売却に伴う損失のため、1億27百万円増加しました。

これらの結果、税金等調整前当期純利益は前年同期に比べ23億94百万円減少し、2百万円の利益(前年同期は23億96百万円の利益)となりました。また、法人税等は3億89百万円減少しました。

以上の結果、当期純損失は前期に比べ15億80百万円減少の2億21百万円となりました。

7. 次期業績予想の前提と主な取り組み

- 1) 当社コンシューマ商品「御殿場高原あらびきポーク」に加え、新たに新商品「たまごっち！ウイナー」のテレビCMを展開し、更なる販売拡大を見込む
- 2) 食肉の国産相場は、当期末より回復傾向がみられ、食肉生産子会社の業績は好転を見込む
- 3) 加工品の主原料価格は円安の影響で大幅な上昇を予想
- 4) ハム・ソーセージ生産子会社は増産によるスケールメリットの確保により、増益を見込む
- 5) 当期に新設した冷食事業部にて冷凍食品カテゴリーの販売拡大を見込む
- 6) 米久おいしい鶏(株)は鳥取事業所の鶏舎新設などにより年間の処理羽数を75万羽増加と見込む
- 7) 持分法適用会社の販売拡大及び国産鶏肉市況の回復を受け、持分損失の縮小を見込む
- 8) 加工品・食肉事業の再編に伴う一過性の特損を見込む
- 9) 為替レートは足元を勘案し、1ドル=95円と予想

8. 次期業績予想

金額単位 百万円

	上 期		通 期	
	金 額	伸び率(%)	金 額	伸び率(%)
売 上 高	73,000	4.3	150,000	5.4
営 業 利 益	610	-	2,050	322.8
経 常 利 益	530	-	2,000	520.4
当 期 純 利 益	0	-	700	-
E P S (円)	0.00	-	27.32	-

9. 設備投資及び減価償却費

(1) 設備投資額 金額単位 百万円

		金 額	金額単位 百万円
		主な内容	
連 結	当期実績	2,086	加工品事業分野の製造設備更新等 7億30百万円 食肉事業分野の鶏肉処理設備及び排水処理設備更新 3億32百万円
	次期予想	3,565	ハムソー生産設備増強 11億52百万円 米久おいしい鶏 鶏舎建物等 14億75百万円 大洋ポーク豚舎増改築 1億84百万円

(2) 減価償却費 金額単位 百万円

		金 額
連 結	当期実績	2,298
	次期予想	2,376